

2022年5月12日

株式会社スタイルポート

**3Dコミュニケーションプラットフォーム『ROOV』が、
新築マンション・新築戸建の集約型販売拠点「東急リバブル・銀座サロン」に採用
～住まい選びの顧客体験の向上と販売経費削減、SDGs推進を実現～**

株式会社スタイルポート（本社：東京都渋谷区、代表：間所 暁彦、以下 スタイルポート）が開発・提供する3Dコミュニケーションプラットフォーム『ROOV（ループ | <https://roov.jp/>）』が、5月14日（土）にオープンする東急リバブル株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：太田 陽一、以下 東急リバブル）の新築マンション・新築戸建の集約型販売拠点である「東急リバブル・銀座サロン」（以下、銀座サロン）に採用されたことをお知らせします。

■リアルとデジタルの融合による新しい住宅購入体験を『ROOV』がサポート



銀座サロンは、デジタル技術の活用により、東急リバブルの新築分譲マンション「L'GENTE」シリーズおよび東急リバブルが販売する新築マンションと新築戸建を、継続的に一箇所で販売する集約型拠点として、5月14日（土）にオープンします。これまで新築分譲マンションの販売は、物件ごとに建設予定地近くに開設するマンションギャラリーへの集客を軸とする手法が取られてきました。しかし銀座サロンでは、『ROOV』の活用によりお客様がご自身のペースでさまざまな物件の情報を収集、住まい方イメージを体験し、効率よく納得度の高い比較検討を行うことができるようになります。

<ROOVが可能にするリアルとデジタルが融合する住まい選び>



バーチャルシアター



VR&物件検索スペース

『ROOV』は、モデルルームなどを撮影した360度画像や、2D（平面）のCGによる360度パースとは異なり、空間のありとあらゆる場所を自由自在に歩き回ることができる3D（立体）CGのVR内覧システムで、新築マンション業界での導入実績数No.1(※1)となっています。

銀座サロンではバーチャルシアターとして、壁面と床、4方向に『ROOV』を原寸大で投影、複数の物件や部屋タイプを原寸大で体験することが可能です。生活導線の確認やインテリアのシミュレーション、各階ごとの眺望の確認や採寸機能の活用などにより、室内にいるようなリアルな没入感で、入居後の住まい方をイメージすることができます。

銀座サロンのVRスペースではお客様ご自身が『ROOV』を自由に操作し、検討したい物件の室内空間をさまざまな角度からじっくりと確認したり、シミュレーションを行うことが可能。さらに3DCGで作成されたデジタルモデルでは、完成後の建物の周囲や共用部を目線の高さで実際に歩くように確認したり、従来の建築模型では見えにくい部分も再現。従来の建築模型では得られなかった、デジタルならではの空間体験を可能にしています。

■『ROOV』により室内空間や模型をデジタル化、環境負荷軽減を実現

銀座サロンではモデルルームやコンセプトルームを設置せず、また模型もデジタル化することで、物件事業主様の大幅な販売経費削減、準備期間短縮を実現。加えて、これまで物件ごとのマンションギャラリーを開設する場合に発生していた、ギャラリーやモデルルーム、展示物等の解体に伴う廃棄物の排出削減に繋がるため、環境負荷を軽減することが可能です。

スタイルポートは『ROOV』を提供することで、先進的なマンション販売の取り組みを支援するだけでなく、持続可能な社会づくりにも貢献してまいります。

<モデルケース>

鉄骨造2階建て300平米の棟外モデルルームを1.5年間使用した場合のCO2排出量(※2)

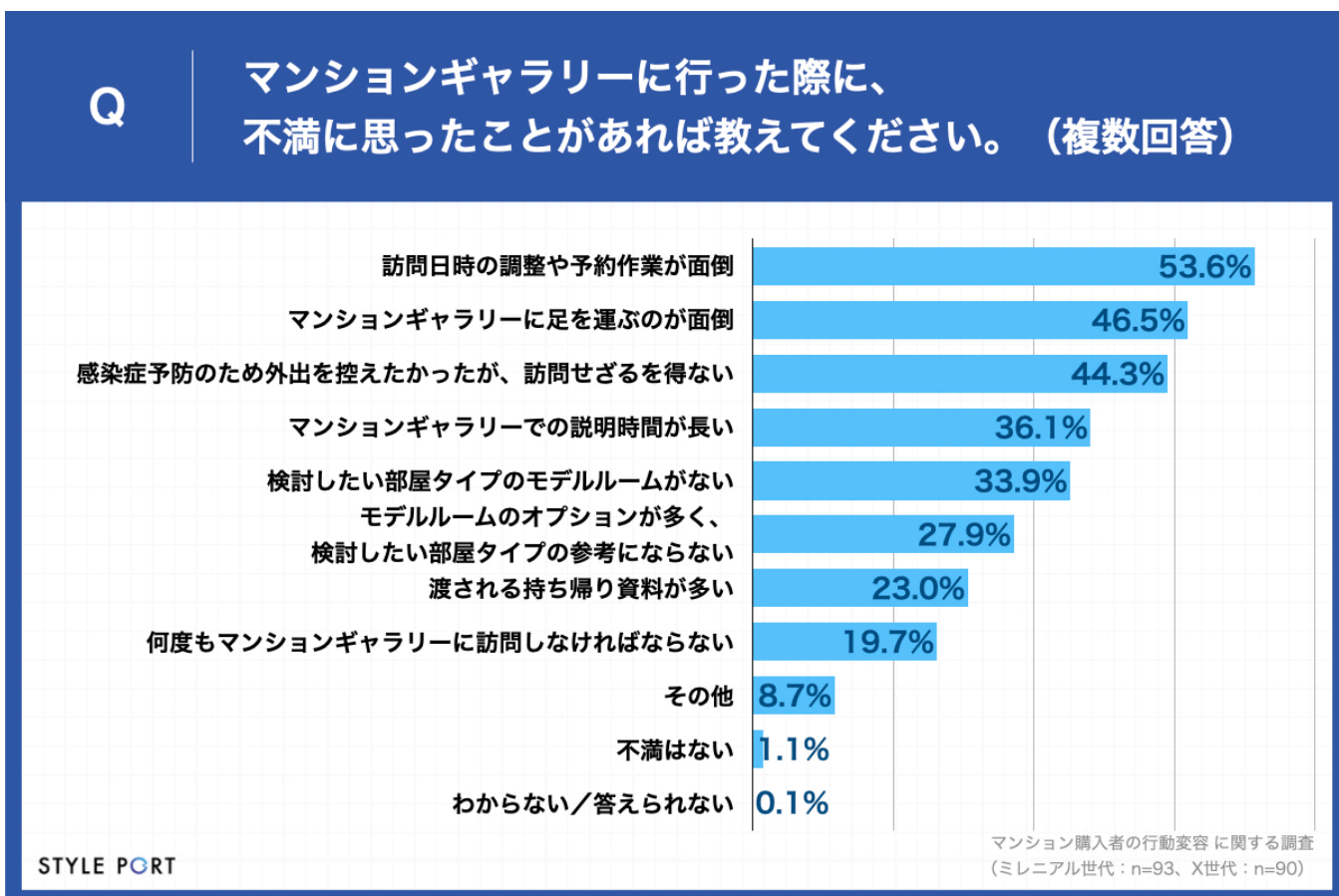
- ・建設時：3.7t（森林面積換算(※3)：0.42ha）
- ・運用時：15.2t（森林面積換算：1.73ha）
- ・解体時：4.2t（森林面積換算：0.48ha）

<本取り組みが貢献する SDGs>



■新築マンション販売はリアルとデジタルのハイブリッド時代へ

スタイルポートは、マンション購入者の行動変容に関して、ミレニアル世代、X世代を対象に調査(※4)を行いました。調査の結果、マンションギャラリーにはほとんど(約91%)が訪問するものの、その多くが「足を運ばなければならない」「訪問日時の調整が面倒」「説明時間が長い」など、従来のマンションギャラリーに対して、不満を持っていることが明らかになりました。



また、マンションギャラリーで渡される資料について約78%が「データ」を希望。さらに、約92%が「すべての部屋タイプをVRで内覧できれば、購入時の意思決定がもっとスムーズにいった」と回答しており、マンション購入者の多くの方がデジタル活用を望む結果となっています。

本調査結果から、足を運ぶ価値のあるリアルならではの空間体験の提供とデジタル活用を組み合わせることに、お客様のニーズがあることが伺えます。

【銀座サロン概要】

・住所：東京都中央区銀座一丁目8-19
キラリトギンザ8F

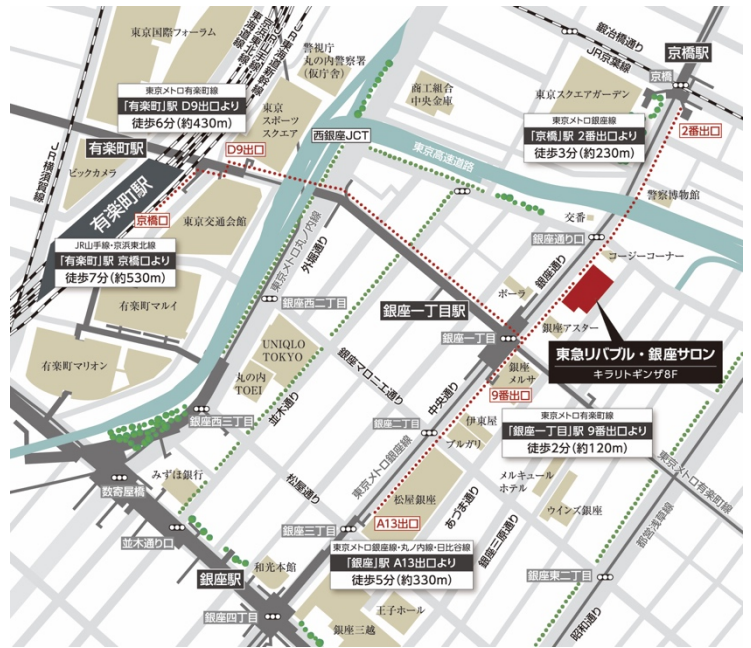
アクセス：東京メトロ「銀座一丁目」駅9番出口
より徒歩2分、JR「有楽町」駅京橋口より徒歩7分

電話番号：0120-036-109

営業時間：10:00～18:00 ※完全予約制

定休日：水・木・第3火曜日（祝日除く）

URL：<https://www.livable.co.jp/kounyu/salon/ginza/>



- ※1 オンライン3DCG接客システムとして（スタイルポート調べ）
- ※2 「CASBEE」（建築環境総合性能評価システム）にてスタイルポート推計
- ※3 森林面積は左記CO2を1年間に吸収するために必要な面積
- ※4 調査リリースURL：
ミレニアル世代調査 (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000041.000031224.html>)
X世代調査 (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000042.000031224.html>)

<会社概要>

■会社名：東急リバブル株式会社
 代表者：代表取締役社長 太田陽一
 設立：1972年3月
 所在地：東京都渋谷区道玄坂1-9-5
 事業内容：不動産仲介業、新築販売受託業、不動産販売業

■会社名：株式会社スタイルポート
 代表者：代表取締役 間所暁彦
 設立：2017年10月
 所在地：〒150-0001 東京都渋谷区神宮前4-3-15 東京セントラル表参道322号
 事業内容：不動産マーケットにおけるITソリューションの開発および提供

【ROOVについて】

『ROOV』は、アプリやソフトウェアをダウンロードすることなく、手元のスマートフォンやパソコンのインターネットブラウザで「いつでも」「どこでも」「かんたん」に3DCGの空間を自由に動き回り、様々なシミュレーションで住み方のイメージを確認できるクラウド型VR内覧システムを基軸とした、住宅3Dコミュニケーションのプラットフォームです。

物件が竣工する前から販売が開始される新築マンション特有の商習慣から、室内空間のイメージが難しく販売員とお客様の認識齟齬が発生したり、モデルルームに行かなければ物件検討を進めることができない、といった販売時の課題を解消すべく、2019年4月にサービスを提供開始。単なるプレゼンテーション用VRではなく、新築マンション販売のコミュニケーションDX化システムとしてご評価をいただき、提供開始約3年で70社、300プロジェクトを超える販売現場で利用され、業界トップの採用実績となっています。



【株式会社スタイルポートについて】

「空間の選択に伴う後悔をゼロにする」をMissionに掲げ、住宅3Dコミュニケーションプラットフォーム『ROOV』を開発、提供しています。クラウド型新築住宅販売支援ツール『ROOV compass』、クラウド型VR内覧システム『ROOV walk』とともに、外部機器やアプリのダウンロード不要、あらゆるデバイスでいつでも誰でも簡単に利用でき、ユーザーの行動ログを閲覧可能。新築住宅販売ソリューションとして新たな販売手法に取り組む企業様にご活用いただいています。

- コーポレートサイトURL : <https://styleport.co.jp/>
- 採用情報 : <https://open.talentio.com/r/1/c/styleport.co.jp/homes/1950>

本件に関するお問い合わせ先 広報担当：遠藤

TEL : 03-6812-9555 FAX : 03-6812-9556 E-mail : <https://styleport.co.jp/contact/>